



株式
会社 **中山製鋼所**

第 **130** 期 (2023年度) **中間報告書**

2023年4月1日→2023年9月30日

目次

株主の皆様へ	1
連結業績の推移	3
連結財務諸表の概要	4
トピックス	5
会社の概要	6

証券コード 5408

株主の皆様へ

平素は、格別のご厚情を賜り、心から厚くお礼申しあげます。

さて、2023年度上半期（2023年4月1日～2023年9月30日）が終了いたしましたので、当社の事業の概況につきまして、ご報告申しあげます。

2023年11月

代表取締役社長 箱守 一昭



事業の概況

当上半期におけるわが国経済は、経済活動が正常化したことにより企業収益や雇用環境が改善する中で、個人消費や設備投資が持ち直し、緩やかに回復しました。一方で、国際情勢が不安定な中で、原燃料価格の高止まりや物価上昇など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主力事業である鉄鋼業界におきましては、自動車向け需要は半導体を中心とした部品供給制約の緩和により回復しましたが、産業機械向けや建築向けの国内需要は弱含みで推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、中期経営計画（2022年度～2024年度）の重点方針に沿って、グループ一体での加工分野の強化、鉄源多様化の促進や製造コストの削減に努めてまいりました。

【鉄鋼事業】

鉄鋼事業につきましては、主原料であるスクラップ価格が弱含みで推移し前年同期比で下落しましたが、エネルギー価格の上昇、設備トラブルの影響によるコストアップや棚卸資産評価差などにより減収減益となりました。これらの結果、売上高は914億27百万円（前年同期比4億12百万円減）、経常利益は62億53百万円（前年同期比11億58百万円の減益）となりました。

【エンジニアリング事業・不動産事業】

エンジニアリング事業につきましては、前年同期に比べ海洋部門の受注が増加したことなどにより、売上高は9億44百万円（前年同期比36百万円増）、経常利益は49百万円（前年同期比39百万円の増益）となりました。

不動産事業につきましては、賃貸収入を中心に安定した収益を確保し、売上高は5億12百万円（前年同期比

13百万円減)、経常利益は3億47百万円(前年同期比5百万円の減益)となりました。

以上の結果、当上半期の連結業績につきましては、売上高928億83百万円(前年同期比3億89百万円減)、営業利益65億58百万円(前年同期比12億21百万円の減益)、経常利益65億27百万円(前年同期比11億83百万円の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益43億95百万円(前年同期比15億80百万円の減益)となりました。

当期の中間配当につきましては、現状の見通しや今後の業績などを総合的に勘案し、1株当たり19円とさせていただきます。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、各国の金融引締めによる景気の減速、地政学リスクに伴うエネルギー価格の上昇懸念や中国の経済・需給動向など、経済および鉄鋼需要の下振れリスクが想定されます。また、物価・人件費の上昇や人手不足による建設計画の縮小や中止など当面厳しい需要環境が続くものと思われます。

このような環境のもとで、当社グループは中期経営計画の施策を着実に実行し、鋼材から加工品まで一貫した利益を高めつつ、適正な鋼材スプレッドの確保に努めてまいります。また、上期の設備トラブルについては10月上旬に実施した対策工事が完了しましたので、今後は安定稼働によるコスト削減に注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、以上の諸事情をご賢察のうえ、今後とも何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

◇中山製鋼所グループの 長期ビジョンと中期経営計画について

1. 中山製鋼所グループ2030長期ビジョン

当社は、おかげさまで2019年に創業100周年を迎え、さらに100年先も躍動し続けるグループを目指し、長期ビジョンとして2030年のありたい姿・目指す企業像を策定いたしました。当社グループの経営理念やグループビジョンを踏まえ、電気炉メーカーである強みや優位性を活かした成長戦略を推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献することを目指してまいります。

中山製鋼所グループ2030長期ビジョン～ありたい姿・目指す企業像

ありたい姿・目指す企業像
・カーボンニュートラル実現に向けて尽力する企業
・従業員のモチベーションをアップさせ、家族の幸せを追求する企業
・社会に貢献し地域と協調・共生する企業
・お客様に中山製鋼所グループを選んでいただき、喜んでいただける企業
・ステークホルダーに安心していただき、喜んでいただける企業

カーボンニュートラル社会・循環型社会への対応として、2050年のCO₂排出量実質ゼロに向け、2030年度のCO₂排出量を2013年度対比46%削減するよう取り組んでまいります。CO₂排出量が高炉に比べて少なく、鉄スクラップを製品に再生する資源循環プロセスである電気炉鋼のニーズが高まっており、電気炉の生産量拡大やエコでグリーンな購入資源へのシフトを進めてまいります。前中期経営計画期間では、電気炉の生産性向上・省エネ・環境改善を目的とした合理化投資の実施や操業時間の延長を図るとともに、電気炉新設を含めた抜本的な電気炉生産能力の増強策を検討してまいりました。本中期経営計画期間では、長期の成長戦略としてより詳細な検討を重ね具体化してまいります。

2. 中期経営計画(2022～2024年度)の概要

中山製鋼所グループ2030長期ビジョンの実現に向けて、そのスタートとなる3年間の中期経営計画を策定いたしました。その概要は以下の通りです。

<重点方針>

- ① “中山らしさ”の追求、グループ一体での付加価値向上による連結収益最大化
- ② カーボンニュートラル・循環型社会の実現に向けた取り組み強化
- ③ 中部鋼鉄株式会社との業務提携の推進
- ④ 経営基盤の強化
- ⑤ ステークホルダーに貢献する取り組み強化

<経営目標>

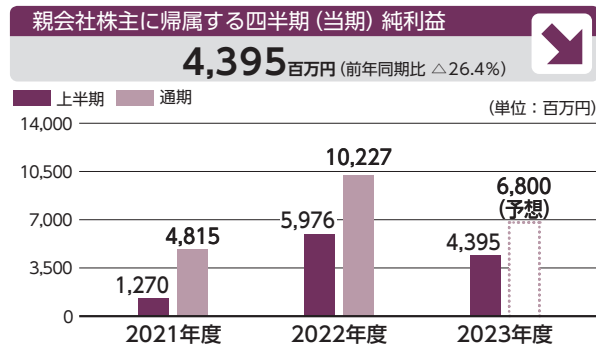
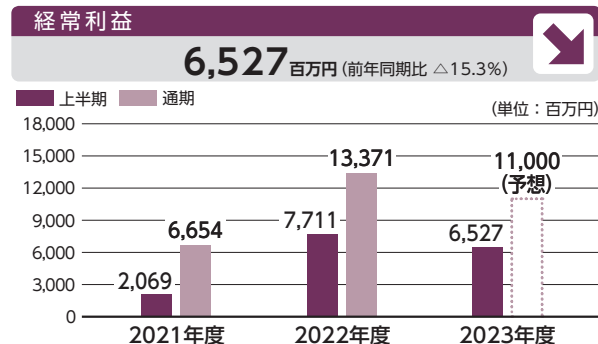
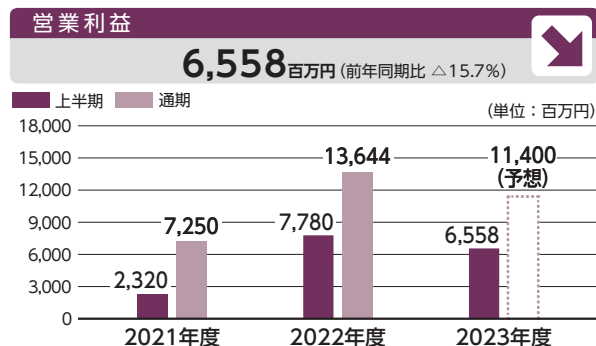
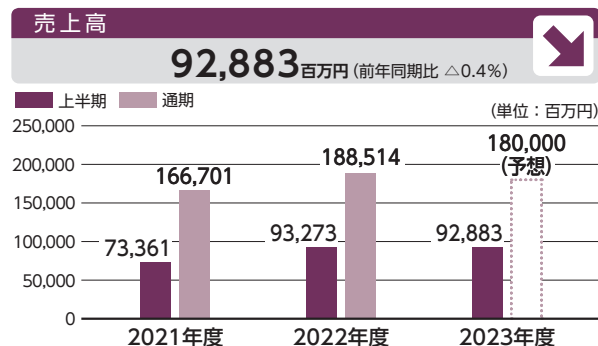
本中期経営計画の最終年度である2024年度の定量目標・KPIは次の通りです。

経常利益	100億円
設備投資額	190億円/3年間
ネットD/Eレシオ	0.1倍程度
ROE	7.0%
配当性向	30%

連結業績の推移

(2023年9月30日現在)

財産および損益の状況



区分	年度・期	2021年度		2022年度		2023年度
		上半期	通期	上半期	通期	上半期
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	23.46	88.96	110.39	188.92	81.18
総資産	(百万円)	131,546	143,618	156,958	148,787	153,887
純資産	(百万円)	85,563	88,931	94,242	96,859	100,456
有利子負債	(百万円)	6,285	15,993	19,616	10,276	9,933

セグメント情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	連結損益計算書
	鉄鋼	エンジニアリング	不動産	計		
売上高	91,538	984	720	93,243	△360	92,883
セグメント利益(経常利益)	6,253	49	347	6,651	△123	6,527

(注) 金額については、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

連結財務諸表の概要

■ 連結貸借対照表 (2023年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	100,507	流動負債	37,571
現金及び預金	16,603	支払手形及び買掛金	24,130
受取手形、売掛金及び契約資産	36,675	電子記録債務	2,106
電子記録債権	8,838	短期借入金	2,590
商品及び製品	15,378	未払金	3,042
仕掛品	5,726	未払費用	1,839
原材料及び貯蔵品	16,560	未払法人税等	2,160
その他	756	賞与引当金	1,072
貸倒引当金	△32	環境対策引当金	11
固定資産	53,379	解体撤去引当金	41
有形固定資産	45,739	その他	575
建物及び構築物(純額)	7,116	固定負債	15,859
機械及び装置(純額)	13,714	長期借入金	7,343
土地	22,616	繰延税金負債	3,119
その他(純額)	2,292	再評価に係る繰延税金負債	1,001
無形固定資産	490	環境対策引当金	233
投資その他の資産	7,149	解体撤去引当金	362
投資有価証券	3,626	関係会社事業損失引当金	165
差入保証金	2,380	退職給付に係る負債	2,379
その他	1,182	その他	1,255
貸倒引当金	△40	負債合計	53,431
資産合計	153,887	(純資産の部)	
		株主資本	96,514
		資本金	20,044
		資本剰余金	7,841
		利益剰余金	69,402
		自己株式	△774
		その他の包括利益累計額	3,941
		その他有価証券評価差額金	1,586
		土地再評価差額金	2,402
		退職給付に係る調整累計額	△47
		純資産合計	100,456
		負債純資産合計	153,887

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (2023年4月1日から2023年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,145
投資活動によるキャッシュ・フロー	△646
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,670
現金及び現金同等物の増減額	△171
現金及び現金同等物の期首残高	16,755
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,583

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書 (2023年4月1日から2023年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	92,883
売上原価	79,981
売上総利益	12,902
販売費及び一般管理費	6,343
販売費	2,687
一般管理費	3,655
営業利益	6,558
営業外収益	285
受取利息	27
受取配当金	51
持分法による投資利益	83
受取保険金	66
その他	57
営業外費用	316
支払利息	71
賃借料	69
その他	175
経常利益	6,527
特別利益	847
固定資産売却益	551
スクラップ売却益	189
その他	106
特別損失	994
固定資産除却損	947
その他	46
税金等調整前四半期純利益	6,380
法人税、住民税及び事業税	2,023
法人税等調整額	△38
法人税等合計	1,985
四半期純利益	4,395
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,395

トピックス

遊休設備の解体

当社船町工場敷地内において、2019年3月より順次進めてきた各遊休設備（東岸壁設備、コークス炉、化成・配合設備、ガスホルダー、第一発電所、第三発電所等）の解体撤去工事が2023年8月に完了しました。

今後は、跡地の活用に向けて、電気炉生産能力の抜本的な増強を視野に含め、具体的な検討を進めてまいります。

三泉シヤー株式会社 第二工場竣工

当社船町工場敷地内において、建設工事を進めてきた三泉シヤー第二工場が完成し、2023年2月より前倒しにて本格的に営業生産を開始しました。第二工場では当社の厚板（NP鋼板）定尺サイズ切断の受託加工も手掛け、当社グループのシナジー向上を図っております。

今後は、製造部門と営業部門を一体化させ、一層の業務効率化を図るため、第二工場の近接地に三泉シヤー新本社事務所を建設中（2024年7月竣工予定）です。

三星商事株式会社 東日本地区で「PRO資材便」の運用開始

三星商事株式会社は、2023年7月から東日本地区を対象にプロ向け建設資材の販売サイト「PRO資材便」の運用を開始しました。同社は、10年後を目途に、EC分野の売上高を全売上高の1割程度まで増やす目標を立てております。

また、同社は、千葉県の幕張メッセで2023年10月に開催された「第13回TOOL JAPAN」に出展し、仮囲い鋼板（フラットタイプ、メッキ2山タイプ）、オリジナル鋼管杭、オリジナル脚立・梯子等を紹介しました。

海洋エンジニアリング事業 日本最大級の高さの魚礁を製作

当社海洋エンジニアリング事業では、長崎県水産環境整備事業において、同県壱岐市にて日本最大級の高さ（35メートル）の魚礁を製作しております。壱岐市郷ノ浦町沖合の海域に2023年11月に設置予定です。

当社が水中ドローンを使用して過去に設置した類似魚礁を追跡調査したところ、約1,000～2,000匹のイサキ、マアジ、イシダイの群れ、ブリ等が確認されました。当社は、魚礁を設置することで、豊かな海の保全に貢献しています（SDGs目標14.「海の豊かさを守ろう」）。



会社の概要

(2023年9月30日現在)

■ **会社設立** 1923年(大正12年)12月22日

■ **資本金** 20,044,777,066円

■ 主要な事業内容

鉄鋼事業

鋼材 鋼板 熱延鋼帯、厚板、中板、縞板、鍍金鋼帯
条鋼 線材、パーインコイル、棒鋼、軽量C形鋼、パイプ、
線材二次製品

鋼片、副産物等

建材事業

軽量形鋼、電縫鋼管、建設関連製品の製造・加工等

エンジニアリング事業

海洋(鋼製魚礁・増殖礁・浮魚礁回収)、ロール、バルブ、機械加工等

不動産事業

不動産の賃貸・売買

■ 主な事業所

【本社・船町工場】

〒551-8551 大阪市大正区船町一丁目1番66号
電話/06-6555-3111(総合案内) FAX/06-6555-3170

【東京営業部】

〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目16番11号
日本橋セントラルスクエア 5階
電話/03-5204-3070 FAX/03-5255-8355

【名古屋営業部】

〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目22番8号
大東海ビル 4階
電話/052-571-7222 FAX/052-571-8105

【建材事業本部・堺工場】

〒590-0983 大阪府堺市堺区山本町6丁目124番地
電話/072-227-6911 FAX/072-227-0429

■ 従業員の状況

連結 1,233名 単体 806名

■ **会計監査人** 有限責任 あずさ監査法人

■ 連結子会社 (5社)

中山通商株式会社、三星商事株式会社、三星海運株式会社、
中山興産株式会社、三泉シヤー株式会社

■ 持分法適用会社 (1社)

日鉄バルテン株式会社

■ 株式の状況

発行可能株式総数 150,000,000株
発行済株式の総数 63,079,256株
株主数 26,234名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
阪和興業株式会社	8,058	14.88
エア・ウォーター株式会社	4,729	8.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,552	8.41
大阪瓦斯株式会社	1,923	3.55
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,461	2.70
尼崎製罐株式会社	1,274	2.35
CREDIT SUISSE AG HONG KONG TRUST A/C CLIENT	1,094	2.02
日鉄物産株式会社	815	1.51
中山持株共栄会	776	1.43
DIMENSIONAL ETF TRUST-DIMENSIONAL INTERNATIONAL SMALL CAP VALUE ETF	508	0.94

(注) 持株比率は自己株式(8,921,566株)を控除して算出しております。

■ 取締役

代表取締役社長	箱中内森角柴阪中喜村岸角津	守村藤川野原口務多澤上田田田	一佐仲昌康善光正早良昌和	昭大彦浩治信昭裕昇合平也義
専務取締役				
専務取締役				
専務取締役				
専務取締役				
取締役				
取締役				
取締役				
取締役				
取締役				
取締役				
取締役				
取締役				

(注) 1. 中務正裕、喜多澤昇、村上早百合、角田昌也および津田和義の5氏は、社外取締役であります。
2. 岸田良平氏は常勤監査等委員、角田昌也および津田和義の両氏は、監査等委員であります。

■ 執行役員

常務執行役員	川西岡奥畑窪平吉太森	井口村田田	啓則孝己則彦生郎已夫
常務執行役員			秀洋和佳一昌卓善由喜夫
執行役員			
執行役員			
執行役員			
執行役員			
執行役員			
執行役員			
執行役員			
執行役員			
執行役員			

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
公告の方法	電子公告 https://www.nakayama-steel.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ 単元未満株式(1~99株)の買取・買増制度のご案内

当社では、市場でお取引できない単元未満株式(1~99株)の買取制度および買増制度を採用しております。手数料は無料ですので、ぜひご活用ください。

※買取制度：ご所有の単元未満株式(1~99株)を当社が市場価格で買い取らせていただく制度です。

買増制度：単元未満株式をご所有の場合に、あわせて100株にするのに必要な株式を当社から市場価格で買い増しすることができる制度です。

【お問い合わせ先】

〈証券会社等の口座に株式をご所有の株主様〉
口座を開設されている証券会社等

〈特別口座で株式をご所有の株主様〉
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部



**NAKAYAMA
STEEL WORKS, LTD.**

<https://www.nakayama-steel.co.jp/>



この冊子は環境に配慮した植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。